



おいしい給食「いただきます」

学校給食記念週間事業

飯野小で1月27日、学校給食記念週間事業の一環で、西村町長が児童たちと給食を食べながら交流しました。

町長が町内各小中学校を巡るこの行事は、熊本地震後中断していましたが、今年度から再開されました。

町長と給食を共にしたのは、同校の6年生21人。「小松菜のごまじゃこあえ」「益城のいきなり団子」など、地元食材が使われた給食をおいしそうに食べていました。

また、木山中には酒井教育長が訪れ、生徒たちと共に給食を食べ交流を図りました。



町長と一緒に給食を食べる児童たち



左から井下さん、中川陽色さん、増永和華さん、匠彩羽さん

「あなた」を思って作りました

お弁当コンクールで2年連続厚生労働大臣賞

「あなたのためのおべんとう」コンクールが、1月25・26日、女子栄養大学(東京都)を主会場に開催され、県代表の木山中2年生チーム「スリートマト」が、「うめえだろ!復幸感謝弁当」で厚生労働大臣賞を受賞しました。木山中は、昨年出場したチームに続き2年連続受賞です。

チームが考えた「あなた」は、地域おこし協力隊の井下友梨花さん。3人は、「ずっとお世話になっている井下さんのためにお弁当を作りたいと思った。そのお弁当で受賞できてうれしい」と、笑顔で話してくれました。

始めてから2年での快挙

ピアノコンクールアジア大会で金賞に輝く

「第21回ショパン国際ピアノコンクール in ASIA」のアジア大会が、1月9～16日、昭和音楽大学(神奈川県)を主会場に開催され、第2保育所年長組の大窪藍葉ちゃん(下砥川)が幼児部門で金賞を受賞しました。

普段は、外で遊ぶのが大好きな藍葉ちゃん。ピアノを始めたのは4歳の時で、家にピアノがあったのをきっかけに、自らの意思で弾いてみたいと思ったそうです。

大会の感想について、「演奏の時は緊張しなかったけど、表彰される時はドキドキした」と話してくれました。



メダルを掛け、賞状を手に笑顔を見せる藍葉ちゃん

Best Smile
今月のベスト笑顔

